

企業のメンタルヘルス

働き方改革とメンタルヘルス

—ダイバーシティの推進、ハラスメントフリーをめざして—

平成30年 **6月12日** (火)

ゲートシティ大崎 ゲートシティホール(ウェストタワーB1F)

公益財団法人 精神分析武田こころの健康財団

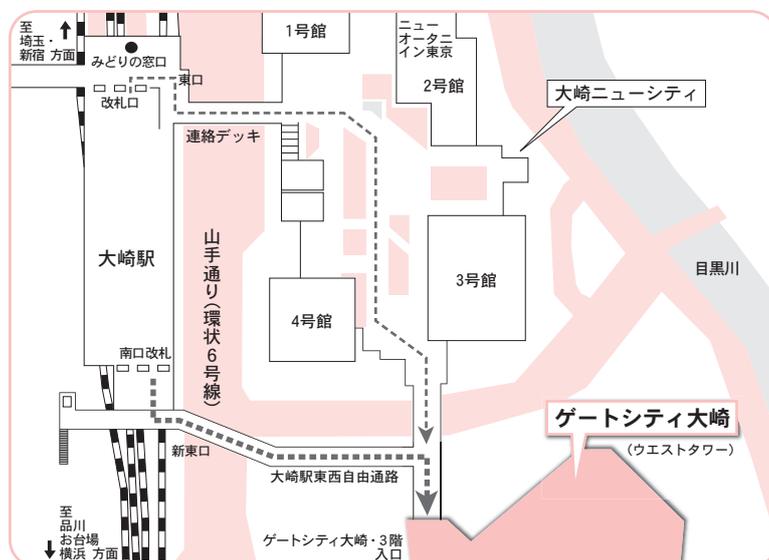
実施要領

- 日 時：平成30年6月12日(火) 12:20～ 受付
13:00～16:50 シンポジウム
17:00～ 懇親会
- 会 場：ゲートシティ大崎 ゲートシティホール(ウェストタワーB1F)
- 会 費：参加費 一般1,000円 学生500円 懇親会費 5,000円
※当日会場にてお支払下さい。
- 申込方法：同封のハガキにご記入の上、5月31日(木)までにご返送下さい。

会場のご案内

ゲートシティ大崎
ゲートシティホール
(ウェストタワーB1F)

〒141-0032
東京都品川区大崎1-11-1
大崎駅南改札口から徒歩1分



ごあいさつ

公益財団法人 精神分析武田こころの健康財団 理事長 武田 龍太郎

当財団では、昭和 58 年に財団が設立され、その時代に応じた様々な産業メンタルヘルスの課題を取り上げ、その啓発と対策に資する目的で、専門家の方々をお招きし、議論を深める産業メンタルヘルスシンポジウムを毎年開催してまいりました。

近年は、国際化・情報化・労働人口の減少など企業を取り巻く環境は、大変はやい速度で大きく変化しており、これまでとは異なった「働き方改革」の必要性が官民あがて叫ばれています。その目標は、すべての働く人が安心・安全な環境で自分らしさを発揮し、生き生きと働けるようになることであり、具体的には労働時間の削減を目指した長時間労働対策を実施すること、非正規と正社員の格差是正、これまで積極的には登用されてこなかった高齢者・障害者・外国人・女性などの多様な人材に活躍してもらい、更に立場に応じた柔軟な働き方（ダイバーシティ）を実現することなどが必要とされています。

本年のシンポジウムでは、働き方改革として、長時間労働対策と並んで推進されている「ダイバーシティの推進、ハラスメントフリーをめざして」を取り上げます。そして、この問題について、様々な立場で対応されている各シンポジストからご発言頂き、私たちは今後どう考え、取り組んでいくべきか、会場の皆様とともに、議論を深めることができばと思っております。その後、まとめと提言として、認知行動療法の普及啓発に取り組んでおられる大野裕先生にご発言を頂きます。

なお、シンポジウム終了後、ささやかながらご参加の皆様の情報交換の場を用意しておりますので、ご参加いただければ幸いです。

プログラム

12:20 ~ 受付開始

13:00 ~ 開 会

開会の挨拶

武 田 龍太郎

公益財団法人
精神分析武田こころの健康財団 理事長

13:10 ~ シンポジウム

池 田 政 俊

座長／帝京大学大学院文学研究科
臨床心理学 教授

①社外のリスクコンサルティング
会社の立場から

石 田 勝 彦

MS & AD インターリスク総研株式会社
リスクマネジメント第一部
労災・安全文化グループ マネジャー・
上席コンサルタント 中小企業診断士

②企業の人事労務における立場か
ら

田 中 静 江

大塚製薬株式会社 人事部 部長補佐
(兼)健康管理室室長

③臨床心理士(EAP「従業員支援
プログラム」)の立場から

湯 佐 真由美

一般社団法人EAPコンサルティング普及
協会

④産業精神科医の立場から

中 川 和 美

東京工科大学 医療保健学部 教授

15:15 ~ 休 憩

15:30 ~ 質疑応答

16:20 ~ まとめと提言

大 野 裕

大野研究所 所長

16:50 ~ 閉会の挨拶

武 田 龍太郎

17:00 ~ 懇親会